	本高等專	門学校	開講年度	令和06年度(	2024年度)	授業科	<b>∃</b>  坎	也域計画論	
科目基礎			•		•				
科目番号	~ II J TIA	0001				専門	/ 選択		
授業形態		授業			科目区分 単位の種別と単位		学修単位: 2		
開設学科					対象学年	<u>中1</u> 事1		•	
開設期		後期	生産システム工学専攻 後期			2			
		15-47-43	イメージ! ケビヽ・	リンチ 「パクト	週時間数 ,・ランゲージ↓ク	2 'リストファー・アレグザンダー、「輝く都市」ル・			л. ¬
教科書/教	対 	ルビュジ	工、「明日の田園者	ランデ、「ハダン 『市」ハワード、「	コンパクトシティ	<u> </u>	·	フランラー、 1/年へ印印]	٦٧٠ ـــ
担当教員	<b></b>	川口 彩希	,勝野 幸司						
到達目標									
2.コンパ	クトシティオ くりにおける	などの都市計	を理解できる。 画における重要な理 意義を理解できる。						
			理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レイ	ベルの目安	未到達レベルの目安		
≕海頂日1			日本の都市政策について説明でき		日本の都市政策の概要につい		て理	日本の都市政策を理解できない	
評価項目1			る		解できる	解できる			
評価項目2			コンパクトシティなどの都市計画 における重要な理論のほとんどの 項目をわかりやすく説明できる。		コンパクトシティ における重要な <sup>す</sup> できる。	コンパクトシティなどの都市計画 における重要な理論の一部を理解 できる。		コンパクトシティなどの都市計画 における重要な理論を理解できな い。	
評価項目3	3								
学科の発	到達目標工	頁目との関	係						
学習・教育	育到達度目標	標 3-3 学習・	教育到達度目標 6-	-2					
		== (a)-(3) JA	ABEE (d)-(4) JABE	EE C JABEE E JAB	EE N JABEE I				
教育方法	太寺	J +11		7 - × × 0 - + - 1 · · · · · · · · · · · · · · · ·	· / • · · · · · · · · · · · · · · · · ·	1161-200	·		. NTT
ことを目的   概要			5科4年の「地域及び都市計画」で学んだ基礎を踏まえ、地域や都市についてさらに専門知識と理解を深める 切とする。特に都市形成に重要な役割を果たしてきた理論や手法、考え方について深く学習する。また、これ 5計画・まちづくりには地域住民の主体的参加が不可欠となることから地域住民のまちづくりへの関わりにも このことを踏まえて、重要な都市計画理論や都市計画制度、コミュニティ理論や住民参加型の意義、それら 別について学ぶ。						
授業の進行	め方・方法	①概要 ②事例等	を提示する。受講生	Eはその課題につい	て取り組み				
,		について打	都市計画・まちづく 授業にて発表し、テ	ディスカッションの	テーマとする。教				
注意点		・ 受講生 ・ 受講生 分の言葉 ・ "なぜ" い。"現場	授業にて発表し、ラ は提示したレポー で記述すること。調	ディスカッションの ト課題について参考 調査する際になぜ? を常にもち、授業で 5。全国各地、世界	テーマとする。教 学文献等により調べ という問いかけが ごは質問を積極的に 各地の街や地域を	、、PPTにより 重要である。 行うこと。地	発表す	。 「る。参考文献の記述を必ず にちづくりに積極的に参加し	
注意点	属性・履値	について ・ 受講生 分の言葉 ・ "なぜ" い。"現場 ・ 質問は	授業にて発表し、ラ は提示したレポー で記述すること。 調 ? "という問いかける に真実あり"である	ディスカッションの ト課題について参考 調査する際になぜ? を常にもち、授業で 5。全国各地、世界	テーマとする。教 学文献等により調べ という問いかけが ごは質問を積極的に 各地の街や地域を	、、PPTにより 重要である。 行うこと。地	発表す	る。参考文献の記述を必ず	
注意点	<b>勇性・履</b> 値	について ・ 受講生 分の言葉 ・ "なぜ い。"現場 ・ 質問は 多上の区分	授業にて発表し、ラ は提示したレポー で記述すること。 調 ? "という問いかける に真実あり"である	ディスカッションの ト課題について参考 調査する際になぜ? を常にもち、授業で 5。全国各地、世界	ラテーマとする。教 考文献等により調べ という問いかけが では質問を積極的に 各地の街や地域を付 ららいたい。	、 PPTにより 重要である。 行うこと。地 体験すること。	発表す	る。参考文献の記述を必ず	してほし
注意点		について ・ 受講生 分の言葉 ・ "なぜ い。"現場 ・ 質問は 多上の区分	授業にて発表し、ラは提示したレポーで記述すること。 調	ディスカッションの ト課題について参考 調査する際になぜ? を常にもち、授業で 5。全国各地、世界	テーマとする。教 学文献等により調べ という問いかけが ごは質問を積極的に 各地の街や地域を	、 PPTにより 重要である。 行うこと。地 体験すること。	発表す	る。参考文献の記述を必ず	してほし
注意点 授 <b>業の</b> 原 ロ アクラ	ティブラーニ	について ・ 受講生 分の言葉 ・ "なぜ い。"現場 ・ 質問は 多上の区分	授業にて発表し、ラは提示したレポーで記述すること。 調	ディスカッションの ト課題について参考 調査する際になぜ? を常にもち、授業で 5。全国各地、世界	ラテーマとする。教 考文献等により調べ という問いかけが では質問を積極的に 各地の街や地域を付 ららいたい。	、 PPTにより 重要である。 行うこと。地 体験すること。	発表す	る。参考文献の記述を必ず	してほし
注意点 授 <b>業の</b> 同 ロ アクラ	ティブラーニ	について打 ・ 受講生 分の言葉 ・ "なぜ" い。"現場 ・ 質問は 多上の区分	授業にて発表し、ラは提示したレポーで記述すること。 調	ディスカッションの ト課題について参考 調査する際になぜ? を常にもち、授業で 5。全国各地、世界	ラテーマとする。教 考文献等により調べ という問いかけが では質問を積極的に 各地の街や地域を付 ららいたい。	、 PPTにより 重要である。 行うこと。地 体験すること。	発表す 域のま ,	る。参考文献の記述を必ず	してほし
注意点 授業の原 □ アクラ	ティブラーニ	について注 ・ 受講生 分の言葉 ・ "なぜ : い。"現場 ・ 質問は 多上の区分	授業にて発表し、ラは提示したレポーで記述すること。調子"という問いかけるに真実あり"である。随時受け付ける。	ディスカッションの ト課題について参考 調査する際になぜ? を常にもち、授業で ら。全国各地、世界 メールも活用しても	ラテーマとする。教 考文献等により調べ という問いかけが では質問を積極的に 各地の街や地域を付 ららいたい。	、PPTにより 重要である。 行うこと。地 体験すること。	発表すり	る。参考文献の記述を必ず	よる授業
注意点 授 <b>業の</b> 原 ロ アクラ	ティブラーニ	について注 ・ 受講生 分の言葉 ・ "なぜ" い。"現場 ・ 質問は 多上の区分 ニング	授業にて発表し、ラには提示したレポーで記述すること。調子でという問いかける。 は真実ありでである。随時受け付ける。対して利用  「授業内容」がイダンス、日本の都市政策とら	ディスカッションのト課題について参考的ではができまする際になぜ?を常にもち、授業でいる。全国各地、世界メールも活用してものがある。と中心市政策と中心市りでもは地問題	ラテーマとする。教 学文献等により調べ という問いかけが では質問を積極的に 各地の街や地域を ららいたい。	、PPTにより 重要である。 行うこと。地 体験すること。 週ごとの到達 日本の都市政	発表すり、はのまた。	る。参考文献の記述を必ず ちづくりに積極的に参加し	よる授業
注意点 授 <b>業の</b> 原 ロ アクラ	ティブラーニ	について注 ・ 受講生 分の言葉 ・ "なぜ! い。"現場 ・ 質問は 多上の区分 ニング	授業にて発表し、ラには提示したレポーで記述すること。 訳 ? "という問いかける。 版時受け付ける。	ディスカッションのト課題について参考的ではができまする際になぜ?を常にもち、授業でいる。全国各地、世界メールも活用してものがある。と中心市政策と中心市りでもは地問題	ラテーマとする。教 学文献等により調べ という問いかけが では質問を積極的に 各地の街や地域を ららいたい。	<ul><li>PPTにより</li><li>重要である。</li><li>行うこと。地</li><li>体験すること。</li><li>固ごとの到達</li><li>日本の都市政</li><li>日本の都市政</li><li>することがで</li></ul>	発表すが、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	る。参考文献の記述を必ずますでくりに積極的に参加します。 一 実務経験のある教員に では、実務経験のある教員に では、実際について理解することが、 では、またいでは、またが、できます。 では、またが、できます。	よる授業ができる
注意点 授業の原 □ アクラ	ティブラーニ	について注 ・ 受講生 分の言葉 ・ "なぜ" ・ 質問は 多上の区分 こング	授業にて発表し、ラには提示したレポーで記述すること。語で記述すること。語ででいう問いかける。に真実ありである。	ディスカッションのト課題について参考的ではができまする際になぜ?を常にもち、授業でいる。全国各地、世界メールも活用してものがある。と中心市政策と中心市りでもは地問題	ラテーマとする。教 学文献等により調べ という問いかけが では質問を積極的に 各地の街や地域を ららいたい。	<ul><li>PPTにより</li><li>重要である。</li><li>行うこと。地体験すること。</li><li>固ごとの到達</li><li>日本の都市政することがで</li><li>コンパクトシ</li></ul>	発表す 域のま 類様の根 (まる) デティに	る。参考文献の記述を必ずますづくりに積極的に参加します。 「実務経験のある教員に 「要について理解することができます。」 「要や住民参加の意義について理解することができます。」	してほし よる授業 ができる いて理解 きる
注意点 授 <b>業の</b> 原 ロ アクラ	ティブラーニ	について注 ・受講生 分の言葉 ・"な現だ」 ・質問は 多上の区分 こング	授業にて発表し、ラには提示したレポーで記述すること。調子で記述すること。調子という問いかける。 は時受け付ける。 は時受け付ける。 はまれる ロース 日本の都市政策とは 日本の都市政策とは 日本の都市政策とは 日本の都市政策といるままま	ディスカッションのト課題について参考的ではができまする際になぜ?を常にもち、授業でいる。全国各地、世界メールも活用してものがある。と中心市政策と中心市りでもは地問題	ラテーマとする。教 学文献等により調べ という問いかけが では質問を積極的に 各地の街や地域を ららいたい。	<ul><li>PPTにより</li><li>重要である。</li><li>行うこと。地体験すること。</li><li>固ごとの到達</li><li>日本の都市政することがで</li><li>コンパクトシ</li></ul>	発表す 域のま 類様の根 (まる) デティに	る。参考文献の記述を必ずますでくりに積極的に参加します。 一 実務経験のある教員に では、実務経験のある教員に では、実際について理解することが、 では、またいでは、またが、できます。 では、またが、できます。	してほし よる授業 ができる いて理解 きる
注意点 授 <b>業の</b> 原 ロ アクラ	ティブラー:	について注 ・受講生 分の言葉 ・"なぜ"。 ・質問は 多上の区分 こング	授業にて発表し、ラには提示したレポーで記述すること。語で記述すること。語ででいう問いかける。に真実ありである。	ディスカッションのト課題について参考的ではができまする際になぜ?を常にもち、授業でいる。全国各地、世界メールも活用してものがある。と中心市政策と中心市りでもは地問題	ラテーマとする。教 学文献等により調べ という問いかけが では質問を積極的に 各地の街や地域を ららいたい。	ル PPTにより 重要である。 行うこと。地 体験すること。	発表す 域のま (策の根 (策の でティに (ディー)	る。参考文献の記述を必ずますづくりに積極的に参加します。 「実務経験のある教員に 「要について理解することができます。」 「要や住民参加の意義について理解することができます。」	してほし よる授業 ができる いて理解 きる
注意点 授 <b>業の</b> 同 ロ アクラ	ティブラー:	について ・受講生 分の言葉 ・"なぜ" ・質問は ・質問は 多上の区分 こング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週	授業にて発表し、ラは提示したレポーで記述すること。語でであること。語でである。である。である。である。である。である。である。である。である。である	ディスカッションの ト課題について参考 調査する際になぜ? を常するち、投業で ら、全国各地、世界 メールも活用しても サ心市街側題 うづくりの意義と事	ラテーマとする。教 学文献等により調べ という問いかけが。 では質問を積極的に る地の役称や地域を付 ちらいたい。	ル PPTにより 重要である。 行うこと。地 体験すること。 日本の都市政 日本の都市政 コンパクトシ コンパクトシ TODについて	発表す 域のま 類に 類に 類に で で で で で で で で で で で で で で で	る。参考文献の記述を必ずますでくりに積極的に参加しますで、 □ 実務経験のある教員に 歴度について理解することができます。 こついて理解することができます。	してほし よる授業 ができる いて理解 きる
注意点 授 <b>業の</b> 原 ロ アクラ	ティブラー:	について ・受講生 分の言葉 ・"なぜ" ・質問は ・質問は 多上の区分 こング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週	授業にて発表し、ラには提示したレポーで記述すること。語でであること。語でである。 で記述すること。語でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 である。 である。	ディスカッションの ト課題について参考 調査する際になぜ? を常するち、投業で ら、全国各地、世界 メールも活用しても サ心市街側題 うづくりの意義と事	ラテーマとする。教 学文献等により調べ という問いかけが。 では質問を積極的に る地の役称や地域を付 ちらいたい。	MPTにより 重要である。 行うこと。地 体験すること。 個ごとの到達 日本の都市政 することが コンパクトシ コンパクトシ TODについて TODについて	発表す 域のま 国標の概 気のる デーィイに 理解す 理解す	である。参考文献の記述を必ずますで、 である。参考文献の記述を必ずます。 である。参考文献の記述を必ずます。 では、実務経験のある教員に では、実務経験のある教員に では、実務経験のある教員に では、実務経験のある教員に では、実際について理解することができます。 できますることができる。	してほし よる授 ができる いて理解 きる
注意点 授 <b>業の</b> 同 ロ アクラ	ティブラー:	について ・受講生 分のでは現場 ・質問は 多上の区分 こング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週	授業にて発表し、ラは提示したレポーで記述すること。語でであること。語でである。 できない う間 いである がである がい である がい できない できない できない できない できない できない できない できな	ディスカッションのト課題について参考的ではなぜ?を関係にもち、授業である。全国各地、世界である。一般では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学	ラテーマとする。教 学文献等により調べ という問いかけが という問いを積極的に 各地の街や地域を付 ららいたい。 □ 遠隔授業対応 「一 遠隔授業対応	ルPPTにより 重要である。 行うこと。地 体験すること。 地 本の都市政 日本の都市政 することが コンパクトシ コンパクトシ TODについて TODについて 田園都市論に	発表す 域のま に 実 に 変 に で デ イ に で で て て て て て て て て て て て て て て て て て	である。参考文献の記述を必ずますで、りに積極的に参加しまでで、りに積極的に参加しまででは、実務経験のある教員には要について理解することができることができることができることができることができることができる	してほし よる授業 ができる いて理解 きる
注意点 授業の原 ロ アクラ 授業計画	ティブラー:	について ・受講生 分の言葉 ・"なぜ"。 ・質問は 多上の区分 こング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週	授業にて発表し、ラには提示したレポーで記述すること。語学でという問いかける。 できまありである。	ディスカッションのト課題について参考のではなぜ?を関する際になぜ?を対してもちち、世界では、一次を国を地、世界では、一次を関係では、世界では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次	ラテーマとする。教 学文献等により調べ という問いかけがごは質問を積極的に る地の街や地域を付 5らいたい。 □ 遠隔授業対応 「街地問題 「「街地問題 「「「「「「「「」」」 「「「」」 「「「」」 「「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「」 「	ルPPTにより 重要である。 行うこと。地 体験すること。 一型 一型 一型 一型 一型 一型 一型 一型 一型 一型 一型 一型 一型	発表すりは、実際では、できた。では、できた。では、できたが、できたが、できたが、できたが、できたが、できたが、できたが、できたが	□ 実務経験のある教員に □ 実務経験のある教員に □ 実務経験のある教員に □ 実務経験のある教員に □ 実務経験のある教員に □ について理解することができることができる することができる □ 理解することができる □ 理解することができる □ 理解することができる □ 世解することができる	よる授 ができる いて理解 きる きる
注意点	ティブラー:	についてす。 ・受講生 分の言なぜ。 ・"なぜ"。 ・質区分 こング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週	授業にて発表し、ラーボ は 提示したレポーで記述すること。 語 で記述すること。 語 で記述するのか で記述するのかで で記述するのかで で記述するのがでする。	ディスカッションのト課題について参考のではなぜ?を関する際になぜ?を対してもちち、世界を対してもいまます。全国各地、世界を対してもいまます。 と中心市政策と中心市中心市街地問題をつくりの意義と事がによる田園都市・ドによる田園都市・ドによる田園都市・ドによる田園都市・ドによる田園都市・ドによる田園都市・ドによる田園都市・ドによる田園都市・ドによる田園都市・ドによる田園都市・ドによる田園都市・ドによる田園都市・ドによる田園都市・ドによる田園都市・ドによる田園都市・ドによる田園都市・ドによる田園都市・ドによる田園都市・ドによる田園和市・ドによる日本田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	テーマとする。教 学文献等により調べ という問いかけがごは質問を積極的に る地の街や地域を付 5らいたい。 □ 遠隔授業対応 ご街地問題 「街地問題 「高) 「論)	ルPPTにより 重要である。 行うこと。地 体験すること。 一型 一型 一型 一型 一型 一型 一型 一型 一型 一型 一型 一型 一型	発表すりは、実際では、できた。では、できた。では、できたが、できたが、できたが、できたが、できたが、できたが、できたが、できたが	□ 実務経験のある教員に □ 実務経験のある教員に □ 実務経験のある教員に □ 実務経験のある教員に □ では民参加の意義につい □ いて理解することができ こついて理解することができ することができる することができる ことができる ことができる ことができる ことができる ことができる ことができる ことができる ことができる ことができる ことができる ことができる ことができる	よる授 ができる いて理解 きる きる
注意点 授業の原 ロ アクラ 授業計画	ティブラー:	について ・ 受言な現場は ・ " 質問区分 ・ " " 質問区分 ・ " で 質問	授業にて発表し、ラニは提示したレポーで記述すること。記述いうること。記述いうありである。というではいかける。で記述するはいかける。で記述するはいかける。では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	ディスカッションのト課題について参考的では、 対象では、では、 を関係になぜでである。 を関係になどでである。 を関係には、世界では、一人では、 の都市政策と中心では、 中心では、の意義と事でによる。 ・ドによる田園都市では、 ・ドによる田園都市では、 ・ドによる田園都市では、 ・ドによる田園都市では、 ・ドによる者では、	テーマとする。教 学文献等により調べ という問いかけがには質問を積極的に 各地の街や地域を ちらいたい。  □ 遠隔授業対応  「街地問題  「街地問題  「「新地問題  「「「「「「「「「」」」  「「「」」  「「「」」  「「「」」  「「「」」  「「「」」  「「「」」  「「「」」  「「「」」  「「「」」  「「「」」  「「「」」  「「「」」  「「「」」  「「「」」  「「」」  「「「」」  「「」  「「  「	ルPPTにより 重要である。 指要である。 行験すること ご本のの都をとこ との都をとう コンパククいて TODについて TODについて 田園都市にる コン・が・がった。 ルと ルとが・がった。 ルと ルとのについて 田園でコでコでこった。 によった。 はない。 はない。 はない。 はない。 はない。 はない。 はない。 はない	発表すまり	□ 実務経験のある教員に □ 実務経験のある教員に □ 実務経験のある教員に □ 実務経験のある教員に □ 実務経験のある教員に □ について理解することができることができる することができる □ 理解することができる □ 理解することができる □ 理解することができる □ 世解することができる	してほし よる授う ができる いて理解 きる なまる
注意点 授業の原 □ アクラ 授業計画	ティブラー:	についてす。 ・一般の ・一般の ・一般の ・一般の ・一般の ・一般の ・一般の ・一般の	授業にて発表し、ラーは提示したしたした。 には提示したことのでで記述する問いかける。 ででいまますででである。 には時受け付ける。 には時受け付ける。 には時受け付ける。 には時受け付ける。 には時受け付ける。 には時受け付ける。 にはいるである。 にはいるではいるである。 にはいるではいるではいるではいる。 にはいるではいるではいるではいるではいるではいる。 にはいるではいるではいるではいるではいるではいるではいるではいるではいるではいるで	ディスカッションの ト課題について参考 関査する際になぜ? を常たもち地、世界 が、全国各活用しても が、全国各活用しても かがある。 かがある。 かがある。 かがある。 かがでした。 かがでした。 かがでした。 かがでした。 かができる。 かがでできる。 かができる。 かができる。 かができる。 かができる。 かがでも、 かがでも、 かができる。 かがでも、 かができる。 かができる。 かができる。 かができる。 かができる。 かができる。 かがでできる。 かができる。 かができる。 かができる。 かがでも。 かができる。 かがでも、 かがでして。 かがでして。 かがでして。 かがでして。 かがでして。 かがでして。 かがでして。 かがでして。 かがでして。 かがでして。 かがでして。 かででして。 かがでして。 かがでして。 かでして。 かでし。 かでし。 かでし。 かでし。 かでし。 かでで。 かでし。 かでし	テーマとする。教 学文献等により調べ という問いかけがには関門を積極的に 各地の街や地域を ちらいたい。  □ 遠隔授業対応  「街地問題  「街地問題  「衛地問題  「高)  「高)  「市計画)  「「「「「「「「」」「「」「「」」「「」」「「」  「「「「」」「「」」「	ル PPTによる。 重要でにある。 変要ではある。 が本なのでは、 でののでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	発表すます。	□ 実務経験のある教員に □ 実務経験のある教員に □ 実務経験のある教員に □ 実務経験のある教員に □ 実務経験のある教員に □ ではて理解することができることができる。ことができる □ 理解することができる □ 理解することができる。□ 世解することができる □ よる都市計画について理解 こよる都市計画について理解	してほし はよる授う がいて 世 きる と なる と なる こ なる こ なる こ なる こ なる こ なる こ な
注意点 授業の原 ロ アクラ 授業計画	ティブラー <u>:</u> 画 3rdQ	について ・ 分の ・ 一の ・ 一の ・ 一の ・ 一の ・ 一の ・ 一の ・ 一の ・ 一	授業にて、ララス (を) は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	ディスカッションの ト課題に際になぜ? を常するもち地、世でもちが、全国を活動をできる地ではできる。 を中心市かいでは、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次	アーマとする。教 学文献等により調べ という問いかけがに では、 を出いう問いを積極的に では、 を地のだい。 「は地問題 「は地問題 「論)」 「市計画) 「本都市の捉え方 「る都市の捉え方 「こよる都市デ	ル PPTにある。 重要でにある。 であと。 ではあると。 ではあると。 ではなののでは、 ではなののでは、 ではないがでするでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	発表すます。	□ 実務経験のある教員に □ 実務経験のある教員に □ 実務経験のある教員に □ 実務経験のある教員に □ 実務経験のある教員に □ 実務経験のある教員に □ について理解することができることができる □ はることができる □ 理解することができる □ 理解することができる □ はる都市計画について理解 □ いて理解することができる	してほし ぶいて さる 解する る る る る る る る る る る る る る
注意点 授業の原 □ アクラ 授業計画	ティブラー <u>:</u> 画 3rdQ	について ・ のので ・ のので ・ のので ・ のので ・ のので ・ ので ・ ので	授業にて発表し、ラージは提示したとので記述することので記述することので記述することのでででででででででででででででででででででででででででででででででででで	ディスカッションの ト課題に際になぜ? を常するもち地、世でもちが、全国を活動をできる地ではできる。 を中心市かいでは、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次	アーマとする。教 学文献等により調べ という問いかけがに では、 を出いう問いを積極的に では、 を地のだい。 「は地問題 「は地問題 「論)」 「市計画) 「本都市の捉え方 「る都市の捉え方 「こよる都市デ	(アPTにある。地との重要ではある。) 型日日すってある。 地とのの都をとってののでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	発 域の は に は に に の の の の の の の の の の の の の の	□ 実務経験のある教員に □ 実務経験のある教員に □ 実務経験のある教員に □ 実務経験のある教員に □ 実務経験のある教員に □ 実務経験のある教員に □ について理解することができることができる □ はることができる □ 理解することができる □ 理解することができる □ はる都市計画について理解 □ いて理解することができる	してほし よる授 がいて理解 きるる 解する こ る る る で きる
注意点 授業の原 □ アクラ 授業計画	ティブラー <u>:</u> 画 3rdQ	について ・ のので ・ のので ・ のので ・ のので ・ のので ・ ので ・ ので	授業にて発表し、ラースを表し、ラースをしています。	ディスカッションの ト課題に際になぜ?で を常するもち地、しても が。全国各活用しても が。全国各活用しても が。全国を活用しても が。全国を活用しても かい市もりの意義と事 ・ドによる田園都市 ・ドによる田園都市 ・ドによる者 ・ビュジエによる者 ・ビン・リンチによ でビン・リンチによ で(Cアレグザンダ で(Cアレグザンダ	テーマとする。教 学文献等により調べ という問いかけがには を地の街や地域を ちらいたい。 「は地問題 「諸地問題 「論) 「下計画) 「「こよる都市でによる都市でによる都市でによる都市でによる都市でによる都市でによる都市でによって、これのでは、「一による都市でによる。」	(アPTにある) では、	発域。	□ 実務経験のある教員に □ 実務経験のある教員に □ 実務経験のある教員に □ 実務経験のある教員に □ 実務経験のある教員に □ 実務経験のある教員に □ について理解することができることができる □ はることができる □ 理解することができる □ 理解することができる □ はる都市計画について理解することができる こよる都市計画について理解することができる こよるができる こよる都市計画について理解することができる	してほし : よる授 がでで理解 さきる 解するる る できる できる
注意点 授業の原 ロ アクラ 授業計画	ティブラー <u>:</u> 画 3rdQ	について ・分・パ・質に ・のの。"は質い。" ・質に ・ので。"。 ・質に ・のに ・のに ・のに ・のに ・のに ・のに ・のに ・のに ・のに ・の	授業にていた。 ラマー でには にない ででででででででででででででででででででででででででででででででででで	ディスカッションの ト課題に際になぜ?で を常するもち地、しても が。全国各活用しても が。全国各活用しても が。全国を活用しても が。全国を活用しても かい市もりの意義と事 ・ドによる田園都市 ・ドによる田園都市 ・ドによる者 ・ビュジエによる者 ・ビン・リンチによ でビン・リンチによ で(Cアレグザンダ で(Cアレグザンダ	テーマとする。教 学文献等により調べ という問いかけがには を地の街や地域を ちらいたい。 「は地問題 「諸地問題 「論) 「下計画) 「「こよる都市でによる都市でによる都市でによる都市でによる都市でによる都市でによる都市でによって、これのでは、「一による都市でによる。」	、	発域。	□ 実務経験のある教員に □ 実務経験のある教員に □ 実務経験のある教員に □ 実務経験のある教員に □ 実務経験のある教員に □ 実務経験のある教員に □ について理解することができることができる □ できることができる □ ではなるできる □ について理解することができる □ について理解することができる □ について理解することができる	してほし : よる授 がでで理解 ききる 解する ここ る る できる
注意点 授業の原 受業計画	ティブラー <u>:</u> 画 3rdQ 4thQ	について ・分・"、"質 ・"、"質 ・"、"質 ・"、"質 ・"、"質 ・"、"質 ・"、"質 ・"、"質 ・"、" ・" ・" ・" ・" ・" ・" ・" ・" ・" ・" ・" ・" ・"	授業によった。 ラマー ではは、 ラマー で記とは、 ラマー で記といいから。 から でいまが でる。 から でいまが でん のから でん から でい でん から でん から でん から でん から	ディスカッションの ト課題に際に、なぜででは、 を常するもものでは、 を常するものでは、 をでは、 の都市政策と中心 中心ができる。 と中心・ドによる田園都市 ・ドによる田園都市 ・ドによるオール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	テーマとする。教 学文献等により調べ という問いかけがには を地の街や地域を ちらいたい。 「は地問題 「諸地問題 「論) 「下計画) 「「こよる都市でによる都市でによる都市でによる都市でによる都市でによる都市でによる都市でによって、これのでは、「一による都市でによる。」	、	発域。	□ 実務経験のある教員に □ 実務経験のある教員に □ 実務経験のある教員に □ 実務経験のある教員に □ 実務経験のある教員に □ 実務経験のある教員に □ について理解することができることができる □ できることができる □ ではなるできる □ について理解することができる □ について理解することができる □ について理解することができる	してほし : よる授 がでで理解 さきる 解するるこ る る で きる

評価割合											
	課題	最終レポート	相互評価				合計				
総合評価割合	70	20	10	0	0	0	100				
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0				
専門的能力	70	20	10	0	0	0	100				
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0				